

人文科学研究所研究叢書

18.『英国ルネサンスの演劇と文化』

1998年3月31日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格5,000円（税別）

ISBN 4-8057-5313-7

はじめに	
第一部 英国ルネサンス演劇の諸相	
I バスタードとフォールスタッフの誕生 —エリザベス朝喜劇構造試論	百瀬 泉
II 受難劇から美徳劇へ —チューダー朝ドメスティック・ドラマの誕生	奥田 宏子
III エリザベス一世の結婚問題とシェイクスピア喜劇	川地 美子
IV 『尺には尺を』と新約倫理の問題再考 —神の法から自然の法へ	青木 和夫
V シェイクスピア思想研究に関する基礎考察 —ヨーロッパ中世とイギリス・ルネサンスとの脈絡を中心として	小山 郁夫
第二部 英国ルネサンスの文化と社会	
VI 法学院とエリザベス朝の文化 —ジョン・マニングガムの「日記」を読む	上坪 正徳
VII 古文書と物語 —或る旅廻り一座の記録	竹中 昌宏
VIII 初期近代の旅行記における食人言説	本橋 哲也
IX 狩猟・鷹狩と音楽 —その文化的考察	富永 道夫
X 驚異拾遺 —17世紀イングランドにおけるいくつかの形態のコレクションをめぐって	秋山 嘉
索引	